

正 誤 表

第 1 編 (第 1 章 ~ 第 3 章) 担当WG名 : [WG 1]

ページ	項番号	行数	誤表示	正表示	備考
78	2.3.1	上から 2	壁厚は、高強度コンクリート・	壁厚は、コンクリート強度・	
92	2.3.3	表 2.3.3.4	柱 - 梁交差部 応力割増係数 1.10	応力割増係数 1.00	
93	2.3.3	上から 12	1階でピロティー構面を有する板状建築物については、ピロティー構面が3構面以上連続して配置しないこと、1階の剛性・耐力が2階以上の剛性・耐力を弾塑性領域にわたり上回ることを確かめる必要がある。	ピロティー構面を有する建築物は、ピロティー階の剛性・耐力が直上階以上の剛性・耐力を弾塑性領域にわたり上回ることを確かめる必要がある。	
95	2.3.4	上から 23	$\max \{ 2G+2P、1.7(G+P) \}$	$\max \{ 1.2G+2.0P、1.7(G+P) \}$	